
白の力と黒の力

ゆー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白の力と黒の力

【Nコード】

N3885J

【作者名】

ゆー

【あらすじ】

何もない普通の日常が突如普通ではない（アブノーマルな）日常に変わってしまう。

普通の平穏な日常を取り戻す為に頑張る主人公とその他大勢達。バトルあり恋愛あり、（一応）ギャグありの話です

01 変わる日常

「くそ！！何なんだあいつらは……」

頭脳も運動神経も普通。通っている学校も平凡の公立高校。

そんなどこにでもいる黒髪の高校生、風間かざま 直人なおとは走っていた。

「何でオレが追われないといけないんだ……」

（思い出せ……今日確かオレは普通に学校に行って友達と普通に喋って……特に変わった事の無い1日だったよな……そういえば……変わった事といえば図書室で本を読んでたら本棚が倒れてきたけど何故か助かったんだよな。

その後学年のアイドルに話しかけられたくらいで……）

直人はひたすら今日あった事や最近起こった出来事を思い出しながら走った。相手は黒服の男、直人はヤクザだと認識し捕まったら命は無いと思ったのでとにかく走っていた。

「はあっ……はあっ……」

直人は辺りを見渡し何かを見つけた。

「あつた……交番……！」

直人は警察に助けを求めようとしていたのだ。

「す……すみません！変な人に……」

言葉は途中で途切れた……何故なら本来は交番の中にいるはずの警察

官はバラバラ死体になっていた…

肉片は飛び散り…壁や机の至る所に血が染み付いていたからだ…

「うっ……」

込み上げてくる吐き気…手で口を抑えてとにかく逃げないと思いつつ外に出ようとしたが…黒服の男が扉の前に立っていた…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3885j/>

白の力と黒の力

2010年10月14日15時01分発行